

高齢者支援部会の研修会で 介護エンターティナーに会ってきました！

富山西リハビリテーション病院 岡田 有由

令和7年6月1日、介護エンターティナーの石田竜生さんを講師にお招きし「笑いとしがいがいを生み出すコミュニケーションのヒント」というテーマで研修会を行いました。石田さんを簡単に紹介しますと、作業療法士でありながら芸人としての経歴もあり、現在は一般社団法人介護エンターテイメント協会の代表として、『人生のラストに「笑い」と「しがい」を』をモットーに活動している方です。2023年の東海北陸作業療法学会でも市民公開講座で講師を務められたことは記憶に新しいところです。

今回はコミュニケーションのヒントということで、レクリエーションでの利用者さんたちとの向き合い方や他職種のスタッフにレクリエーションの効果を理解していただくための工夫などを具体

例を交え紹介してもらいました。「すべての参加者に満足してもらう必要はない」「今ではなくいつかのための体操」といった言葉はすぐには理解できませんでしたが、石田さんの説明より実感を伴った理解となり、大きな学びとなりました。

惜しむらくは研修会の参加者がやや少なかったことです。自分たちのアナウンスが足りなかったせいもあります。また最近の傾向としてZOOMでの研修が多くなっていますがやはりお互いの熱を直接感じることができる対面が望ましいと個人的には感じています。

写真のシートは石田さんが開発した脳トレステップシートです。興味がある方はネットで検索してください。アマゾンでも購入可能です。心身ともに効果が期待できる優れたものですよ！



研修会参加者と記念撮影！ 大変勉強になりました。
石田さん、また富山に来てください！



介護エンターテイメント
エンターテイメント
脳トレステップシート

2025年度在宅生活を考えるリハビリテーション研修会①

報告

富山県リハビリテーション専門職団体協議会 訪問リハ委員会 野村 祥子

2025年8月24日(日)に南砺市民病院で大浦誠医師（南砺市民病院内科副部長・総合診療科副部長）による「多疾患併存に対する在宅リハビリテーション」の講義を開催しました。多疾患併存（以下、マルチモビリティ）の定義は、2つ以上の慢性疾患が一個人に併存している状態のことであるということです。

私達が臨床で出会う患者さんや利用者さんの多くがこのマルチモビリティの状態であり、身近なテーマとして受け入れやすい内容でした。大浦医師によると、カンファレンスは医師中心になってしまう傾向にあるため従来のカンファレンスの形から脱却したいと考えておられ、南砺市民病院で実際行われている、マルチモビリティをバランスよく見るための妄想力を鍛えるカンファレンスである、通称「マルモカンファレンス」を会場全員参加型で体験しました。症例提示者が1枚だけスライドを提示し、このスライドに載っていない情報を収集するために、症例のことで気になることを思い浮かべ、質問したり、意見を出したりして



いきます。目的は結論を出すことではなく、各自で症例の姿が浮かぶことを実感できればこのカンファレンスは成功であるという落としどころで進んでいきました。会場からの質問は挙手やチャットを活用し、大浦医師のユーモアに富んだ進行で、次第にまとまっていく症例像を整理する過程で、疾患の組み合わせを現象として捉えることや、各専門職の視点を自由に楽しく、且つ、安全に共有できることが魅力であると分かりました。また結論を無理に出さないことが苦ではなくなることで、治療はプロセスの一部であり対象となる人のその人らしい生活ができることへの支援内容に焦点を当てて考えやすくなったと感じました。

今回の講義を受けて、カンファレンスの着地点を見付ける方法としてのマルモカンファレンスでは、互いに学びながら対象者を捉えていく情報交換会となり、その人を理解して、その人らしさを尊重しながら、その人に合った作戦を練る場になると感じたので今後活用していきたいと考えています。後半は福祉用具体験会も実施し、新商品のマットレスや歩行補助具を学ぶ機会も設けました。

在宅でのリハビリに必要な知識を身に付けて、在宅生活を長く健やかに継続できるための支援をしていけるように次回の研修会も企画中です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



5歳児健診への作業療法士参画に関するお知らせ

発達障害部会 理事 桐山 由利子（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

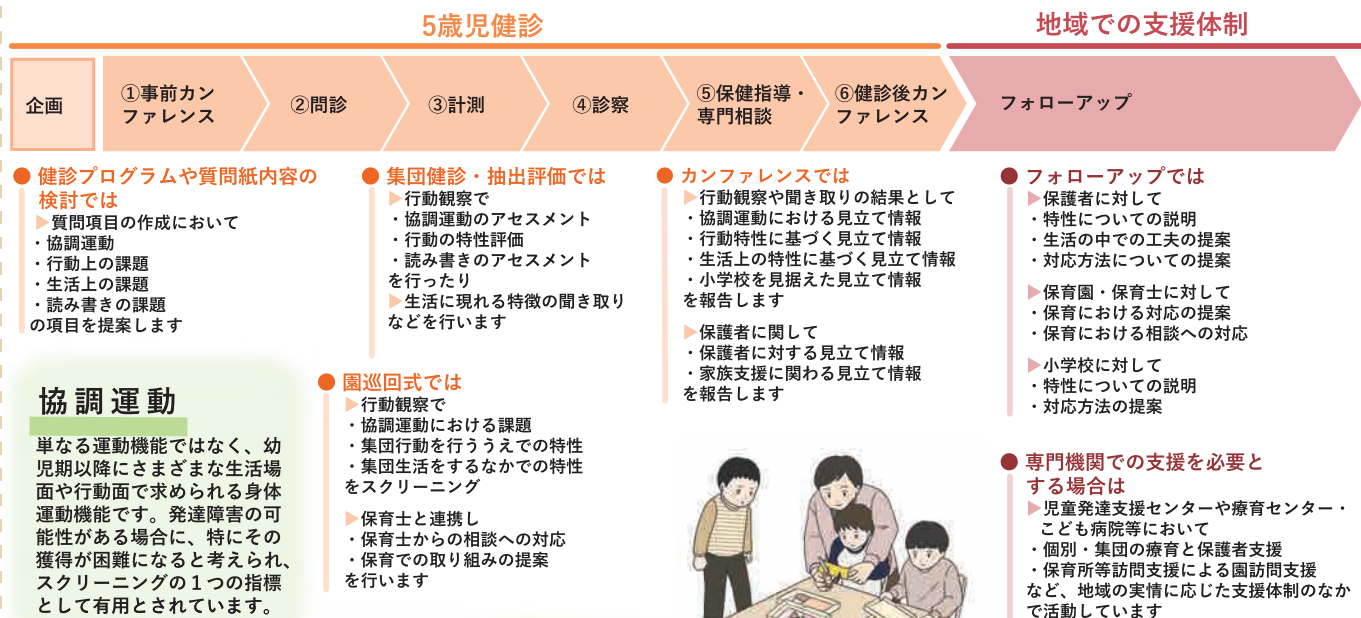
現在の県士会員の参画については、上市町のみ確認しています。富山県15市町村それぞれの、人口規模や支援チームの状況によって健診の実施体制は異なります。

去る8月、協会は、作業療法士の可能な役割を示したパンフレット「5歳児健診作業療法士活用説明」を作成、市区町村母子保健主管部局へ郵送し、問い合わせ窓口を各士会の事務局と決めました。また、協会は人材育成を目的とした研修会も企画しています。日は12月7日と2月15日の計2回です。いずれも同じ内容が予定されています。近年、県下も、放課後等デイサービスなど発達領域で活躍される会員が増え、市町村から依頼がくる可能性はありますので、是非、参加をご検討下さい。なお、研修会の詳細は協会および県士会HPでご確認ください。そして、発達障害部会の事業活動へも加わっていただけると非常に有難いです。何卒よろしくお願いします。

5歳児健診・地域での支援体制への作業療法士参画における役割例

（別紙1）

5歳児健診に関わる職種の例として作業療法士が示されています。第4回こども家庭審議会成育医療等分科会（令和6年11月20日、資料2-2「乳幼児健診について」）5歳児健診の各過程や地域での支援体制のなかで、作業療法士が果たせる役割について一例をご紹介します。



協調運動

単なる運動機能ではなく、幼児期以降にさまざまな生活場面や行動面で求められる身体運動機能です。発達障害の可能性がある場合に、特にその獲得が困難になると考えられ、スクリーニングの1つの指標として有用とされています。

園巡回式では

- ▶ 行動観察で
・ 協調運動における課題
・ 集団行動を行ううえでの特性
・ 集団生活をするなかでの特性をスクリーニング
- ▶ 保育士と連携し
・ 保育士からの相談への対応
・ 保育での取り組みの提案を行います

作業療法士の視点



作業療法士は運動や感覚、精神といった心身機能や、社会に適応するための能力に対して作業を通じて働きかけたり、環境を整えることで、こどもの育ちと生活を支援するリハビリテーション専門職です。

健診では、協調運動にくわえて、姿勢や巧緻動作、集団における行動などを観察・評価し、就学に向けて必要な、身体面、認知面、心理面の状態を把握します。

地域での支援体制のなかでは、児童発達支援センターや医療機関での支援をはじめとして、親子教室・子育て相談会・ペアレントトレーニング等のプログラム検討と実施、巡回支援専門員として保育園等へ訪問し環境調整や関わり方の助言といったことも行っています。

ユニバーサルテープ研修会を開催しました

福祉用具支援事業委員会

当委員会では、臨床での課題を解決する方法の一つとして、福祉用具や自助具の使用、また環境の工夫を提案しています。

今回、委員内のスキルアップを目的に、2025年（令和7年）9月6日（土）、株式会社ニッシリの斎藤香織氏、岩田和之氏を講師にお迎えし、「ユニバーサルテープ研修会」を開催しました。

講師はオンラインでのご登壇でしたが、参加者は3～4名のグループに分かれ、実際に手を動かしながら臨床での活用方法について意見交換を行いました。



ユニバーサルテープって、なに？



製品名：Universal Tape（ユニバーサルテープ）
材 質：シリコーンゴム
サイズ：幅25mm×2m巻（厚み1.0mm 山型）
カラー：オレンジ、グリーン、ブラック
クラウドクリアクリアピンク、クリアブルー

特徴①

- ✓ シリコーン同士を重ねることによって一体化
⇒ 普段使用しているものに巻き付けるだけ
- ✓ 加熱不要⇒ 常温で硬化
- ✓ 粘着剤不使用
⇒ 剥がした後の糊残りやベタつきなし
レンタル品を汚さず、保護の役割も期待できる

特徴②

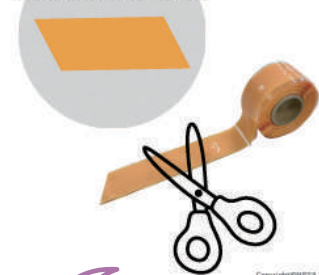
- ✓ 金属製・木製・プラスチック等どんな素材にも使用可能⇒ テープ同士が貼り付いているため、形があるものであれば使用することができる
- ✓ 撥水性があり水回りで使用できる
⇒ テープを巻いたまま洗浄、食洗機も◎
- ✓ アルコール、漂白剤の使用
⇒ 日常使用レベルであれば使用可能

日本製

実際の様子

今回は、鉛筆ホルダー、太柄スプーンを作成しました。.....

平行四辺形にカット



使いたい長さでカットします

テープを
スプーンに
巻きます



完成した作品です

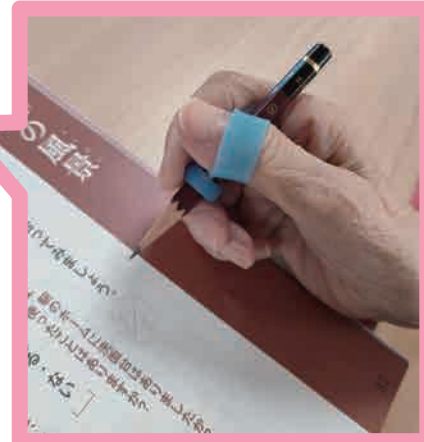


使用した道具もハサミや100円ショップのスポンジ、割り箸など身近なもののばかりで、誰でも簡単に扱うことができました。

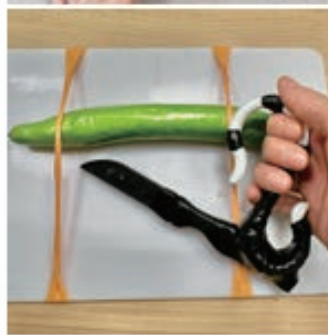
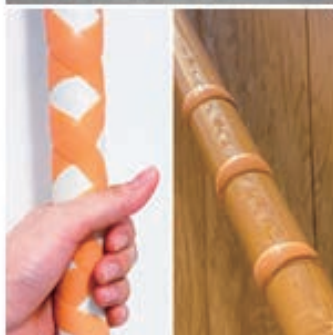
また、手すりやテーブルの滑り止め、車いすハンドリムなどにも応用できるとのことでした。

作成した作品はさっそく臨床でも活用しました！

利用者様からは「リングホルダーと組み合わせることで筆圧がかけやすく、書きやすくなった」との感想をいただきました。



その他応用例



参加者の感想

- 気軽に使えるような素材で扱いやすかった。臨床でも試してみたい。
- 専門的なスキルがなくても、手軽に作成できることに驚いた。
- 簡単かつ安価に自助具作成や環境改善が行えることが分かった。自分だけでは思いつかない使い方を多く知ることができ、参考になった。
- 自分には発想力があまりないので、他の方のアイデアを共有できて良かった。

今後に向けて

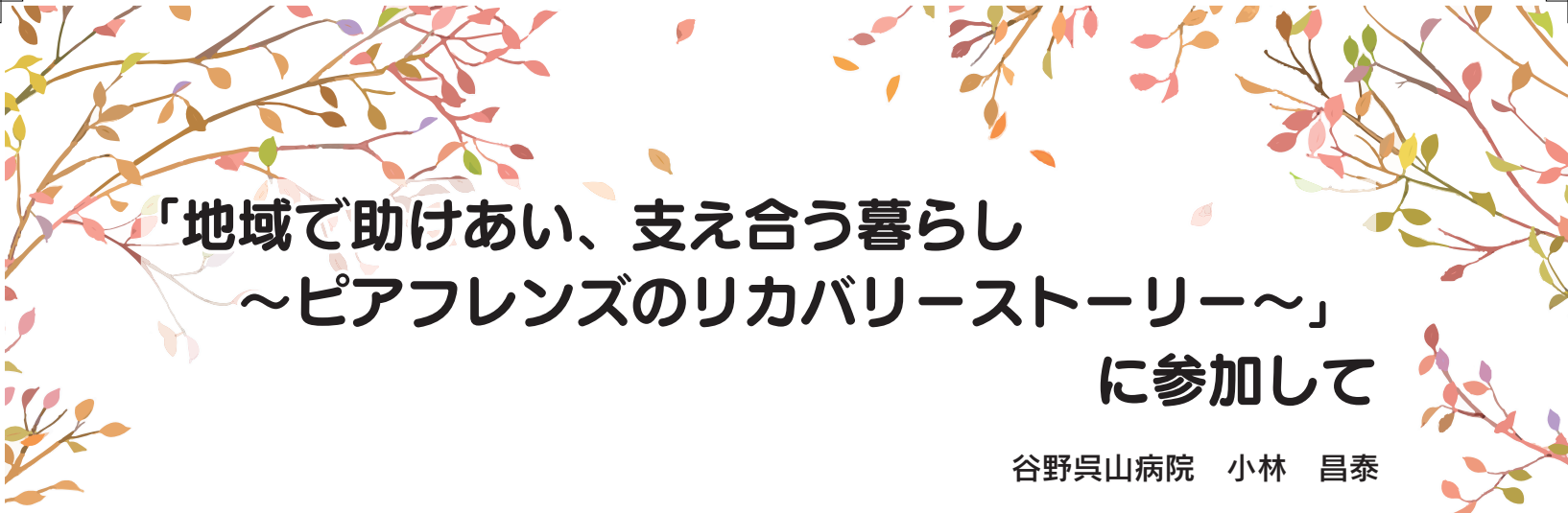


作業療法士（OT）が福祉用具や自助具の専門家であるという認知は、まだ十分とはいえないのが現状です。他職種や対象者、ご家族にも理解を広げていく働きかけが必要だと感じています。

日常生活の困りごとを解決する手段として、ユニバーサルテープは非常に有効です。今後は生活行為工夫事業の充実に向け、ユニバーサルテープを用いた事例報告を増やしていきたいと考えています。

また、オープンチャット「OT福祉用具支援ネットワーク富山」でも情報交換を行っていますので、ぜひご参加ください。

さらに、2026年3月の県学会では「ユニバーサルテープ」を使った自助具の製作体験会と展示を予定しています。ご興味のある方は、ぜひお立ち寄りください。



「地域で助けあい、支え合う暮らし ～ピアフレンズのリカバリーストーリー～」 に参加して

谷野呉山病院 小林 昌泰

一般社団法人美海サルヘンなどの能浦美穂子先生、医療法人社団啓愛会 小矢部大家病院の小原智恵先生、ピアフレンズ（自身の障害や病気の経験を活かして、同じ境遇にある人を支援する方々）のお二方による講演に参加させて頂きました。

普段私が関わっているのは様々な精神疾患を抱えて入院された患者様であり、ふと「患者様が退院された後は地域でどのような生活を送っているのか」と考えた際にイメージが湧きませんでした。その為今回の内容に興味を持ち、参加させて頂きました。

一人目のピアフレンズの方は長期入院を経て退院した後、慣れない生活を送るのがやっとな状況の中で身体的な不調も重なり「死にたい」と言う気持ちになっていたが、周りの精神保健福祉士などの支援者に悩みを相談し対応して貰う事で次第に元気を取り戻し、現在では楽しく生活を送ることができているとの事でした。

二人目のピアフレンズの方は退院後、自身の特技を活かして革製品関連の仕事をしている事、それとは別にピアフレンズとして同じ境遇の方を援助している事をエピソードを交えてお話頂きました。

能浦先生、小原先生の講演では「美海」を立ち上げた理由や取り組みについてご説明頂きました。事業所ではピアフレンズとして当事者を雇用し、より身近に利用者と会話が出来る点を活かして日々の悩み等を聞いてより早く利用者の不調に対応出来るようにしている事、地域活動支援センターでは「Dreamers Cafe CRAZY」や「夏男っ夏女っHEY!in松太枝浜」などを開催し、イベントを通して利用者と地域の方とで交流を深める活動を行っている事をお話頂きました。

今回の講演でピアフレンズの方の「仕事をする事で自分は誰かの役に立てているという充実感や達成感を感じる事が出来る」という言葉が印象に残りました。学生時代に習った「人は作業を通して健康や幸福になる」という作業療法の理念を思い出し、改めて自身の仕事がこれから退院して生活していく患者様にどれだけ重要であるかを改めて感じました。今回の研修を受けて、今後自身の担当患者様が地域で充実した生活を送るために、自分に何が出来るのか考えて今後の業務に活かしていこうと思いました。



施設紹介

太陽のプリズム 才覚寺 高山 恭兵

住宅型有料老人ホーム 太陽のプリズム才覚寺は2017年3月に開設し、今年で9年目を迎えた医療対応型の施設です。当施設は居室が60床あり、パーキンソン病や多系統萎縮症、脊髄小脳変性症などの神経疾患の方から末期がんの方など医療重症度の高い利用者様が多く入居されています。そのため当施設は看護師が24時間常駐しており、在宅酸素療法や吸痰処置、胃瘻等の経管栄養など幅広い医療処置に対応可能となっています。夜間帯も看護師3名、介護士5名体制で業務に当たっており、利用者様や御家族様が安心して過ごして頂けるよう努めています。

当施設は「スマイル！才覚寺！」を施設テーマとして掲げています。進行性の疾患や終末期の方が多い施設であるため、日常の身体的ケアや医療処置は勿論ですが、最期まで笑顔でその人らしく生き生きとした生活を送れるよう支援させて頂くという想いが込められています。リハビリスタッフは施設テーマ達成を目指し、作業療法士1名、理学療法士2名、言語聴覚士1名の4名がそれぞれの専門性を活かして日々業務に当たっています。利用者様が過ごされる共同フロアの一角にある小

さなりハビリスペースで、使用する物品も多くはありませんが、スタッフ一人ひとりが工夫して関わっています。

園芸が好きだった利用者様と一緒に花や野菜を助言して頂きながら育てたり、もう一度自分の手でジョッキを持って乾杯をすることを目標とされた方とリハビリを実施し、最終的にスタッフと一緒にジュースで乾杯をしたり、自宅にもう一度帰りたいという利用者様には施設スタッフが付き添い一緒に外出したりするなど、出来る限り利用者様の思いに寄り添えるよう多職種が連携して関わっています。入居されている方々と接する中で、今までの人生や生きがい、大切にしていることなどを深く知ることが支援する上で重要なことだと改めて感じる毎日です。

神経疾患や終末期リハビリの経験が少ないスタッフばかりの当施設ですが、利用者様に寄り添った支援を出来るよう日々精進していきたいと思っています。





富山西リハビリテーション病院

北山 依寿美

県士会のみなさまこんにちは。富山リハビリテーション医療福祉大学の同級生であった松田日和さんからバトンを引き継ぎました。今回のコラムを担当させていただきます、富山西リハビリテーション病院の北山依寿美と申します。

私は作業療法士になり2年目です。1年目は急性期病棟で働き、今年2月より回復期病棟へ異動となりました。それぞれの場所では初めてのことで不安もたくさんありましたが、熱心に指導して下さる先輩方のサポートのもと、日々多くのことを学ばせて頂き、実践に活かせる知識が身についてきたのではないかと感じています。どの先輩方も温かく丁寧に指導して下さるので、とても良い環境でお仕事させて頂いていると感じています。学んだ知識を患者様に還元し、患者様の退院後の生活を見据え、その人らしい生活が送れるように作業療法士として支援をしていきたいと思っています。

さて、今回は私の趣味についてお話させてい

たきます。最近はサウナが好きで、仕事終わりに友人とよく行っています。初めは、サウナの「整う」がよく分からなかったのですが、何度か通うにつれて身体の疲れが取れてすっきりする感覚が分かるようになり、週1で通うときもありました。サウナハットとサウナマットを購入したので、富山県内のサウナを制覇して、今後は自然の中に設置された屋外サウナや県外のサウナにも出かけ、サ活に取り組みたいと思っています。今後も、仕事と私生活の両面で充実した日々を過ごしていきたいと思っています。

最後に次は同じ職場に所属し、富山リハビリテーション医療福祉大学の後輩でもある、柳原偲花さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお願いします！！



富山県立中央病院

速水 愛華

県士会の皆さまこんにちは。障害児入所施設・療養介護施設あゆみの郷の長澤里菜さんからバトンを受け継ぎ、今回コラムを担当させていただきます。富山県立中央病院の速水愛華と申します。作業療法士として働き始めて2年が経ちました。あっという間の2年間で、日々作業療法の難しさや

やりがい・楽しさを実感しています。これからもたくさんのことを学び、患者様の生活や生きがいに寄り添っていける作業療法士になれるよう努力していきたいと思っています。

さて、今回は私の好きなことや挑戦したことについて少しお話させていただきます。私は、学生の頃からサウナが大好きで、富山県内や県外も含めたくさんのサウナに足を運びました。働き始めてからは学生の頃よりサウナに入る頻度が減りましたが、天気の良い日は外気浴のことを考えてしまいます。また、今年は富山マラソンに初挑戦することもあり、ランニング後に

サウナに入りに行くことが多くなりました。あまりランニングに気乗りしない日もありますが、そんな時はサウナに入ることを目標に練習に励んでいます。富山マラソン後もサウナに行く予定があり、時間内に完走できるよう頑張りたいです。

話は変わりますが、今年は、パラグライダーやボルダリング、登山、カヤックなどに初挑戦しました。どれもとても楽しく、爽快感がありました。中でも、パラグライダーは飛ぶまでの助走が大変でしたが、上空から眺める景色は圧巻で、鳥になれた気分でした。他にもおすすめのスポーツやアウトドアがあれば教えてください。最後に次のバトンは、富山西総合病院に所属している竹下広武さんに渡したいと思います。よろしくお願いいたします！！



介護美容をもっと身近に

“介護美容”聞き慣れない言葉でしょうか。聞いたことあると思った方がいらっしやると嬉しいです。介護美容とは「高齢者や障がいをお持ちの方に美容を通して、笑顔を引き出し明るく前向きな生活を送るための精神的サポート」を行う、近年全国的に注目度の高い保険外サービスです。

私は昨年1年間、都内の養成校に通い民間資格「ケアビューティスト®」を取得、今年3月に開業致しました。入所・通所系施設やご自宅を訪問しエステ、ネイル、メイク施術を行います。現在は通所施設へ美容レクにお伺いすることが多いです。“綺麗になる”が第一目的ではなく、会話を楽しみながらお一人おひとりに触れることで、「ありがとう」「あったかい手で気持ちいい」「こんなことしてもらったことない」と安心感や幸福感、高齢者が失いがちな存在意義の充足に繋がっていると感じています。導入している施設様からは1対1の関わりが利用者様の生活を豊かにする、気持ちが前向きになりリハビリ意欲に繋がるとのお声を頂いています。さらに、介護美容では足の爪切り&フットケアにも力を入れています。綺麗な装いで外出したい。美容を楽しむために元気に日々を過ごしたい。と思っても、爪トラブル（肥厚爪・巻き爪）や、足トラブル（タコ・魚の

訪問型シニア美容 -Relaught- 高橋 香織



目)で歩行やADLに支障をきたすことも。そのトラブルを解決に導くことで介護予防そして健康寿命延伸も期待されています。

しかし、富山は認知度が低く、一般の方はもちろん、施設様への導入も難しいのが現状です。そのためまずは「介護美容をもっと身近に」「北陸・富山に介護美容を広めたい」と、同じ志しを持つ北陸在住のケアビューティストと共にマルシェ出店等で認知度向上を図っています。先日、全国区の某テレビ局の情報番組で特集が放送されたり、県内でも新聞社様にご紹介頂いたり、認知度向上の良い機会となりました。もっと介護美容が浸透し、高齢者や障がい者が普通に受けられるようになれば、介護美容は今後待ち受ける超高齢社会を当事者のみならずご家族、医療介護従事者も明るく笑顔で過ごすために不可欠なサービスになると思っています。

来たる第23回富山県作業療法学会では技術講座にて「高齢者に対する介護美容の可能性(仮)」をお話しさせていただきます。北陸ケアビューティーでのマルシェ出店もごさいます。この機会に介護美容を身近に感じ、介護美容に触れてみませんか。ご来場お待ちしております。

北日本新聞社

高齢者 広がる介護美容

県内施設 生活潤いリハビリに意欲

ネイル・メイク・フットケア

「介護美容」とは、高齢者や障がいをお持ちの方に美容を通して、笑顔を引き出し明るく前向きな生活を送るための精神的サポートを行うサービスです。県内では、介護美容を提供する施設が徐々に増え、高齢者の生活の質を向上させる効果が期待されています。

県内では、介護美容を提供する施設が徐々に増え、高齢者の生活の質を向上させる効果が期待されています。

県内では、介護美容を提供する施設が徐々に増え、高齢者の生活の質を向上させる効果が期待されています。

令和7年度 第3回理事会

日時：令和7年6月26日（木）19時～20時

場所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、
水島、中川、堀口、丁子、能登、田中、
森、小倉

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

- ・新生涯学修制度について総会前に説明会実施済み
- ・臨床実習指導者講習会 現在6名申込み 30名以上の申込みを募る

2) 富山県作業療法学会（桐山理事）

- ・HP、インスタにて随時情報更新
- ・東海北陸学会でも同様な取り組み予定

3) 生活作業療法委員会

- ・6月19日 第1回支援会議 福田氏、水島理事、渡邊理事、池端氏 報告別紙参照
市町村担当者配置の割合出された。精神、災害にも活動の幅を広げる。
協会のマニュアルに、南砺市の訪問型サービスCの取り組みが取り上げられている

4) 災害リハビリテーション研修会

- ・会費助成、今年度ボランティア募集、6月28日研修会 現地開催
- ・JIMTEF 現在2名希望

5) オープンチャット運用について

- ・現在31名登録

6) 発達障害部会

- ・富山市6月議会 特別支援学級に作業療法士の活用に関する議員質問あり。市議事務所に面会の連絡。
- ・研修会会場費の予算超過について3000円ほど部会の中でやりくりしてもらえたらよい

- ・5歳児健診の見学について（別紙参照）現在、依頼はきていない

7) 普及指導部

- ・作業療法体験会：3役が参加してもらえるとメディアに対してもよいのではないか
- ・OTマップ進捗状況：令和7年度印刷発注済

8) 保健委員会

- ・5月23日 医療保険・介護保険における作業療法算定に関する担当者会議。報告別紙参照。
レセプト返還について報告。情報収集。

2. 日本作業療法士協会関連

1) 第1回よんぱち（オンライン開催）

- ・6月28日 齋藤、大平、塚田、水島、能登
- ・事務局会議済み 報告別紙参照

2) 訪問型サービスC事例集

- ・南砺市が先進事例として紹介

3) 作業療法士のための総決起集会

- ・6月6日 WEBにて開催。報告書はメーリングリストにて配信。

4) 協会会員管理システム「士会サイト」

- ・5月21日より公開。士会ID、会員番号、パスワードにて担当者利用可能。富山県は吉波理事が確認可能。

3. 富山県関連

1) 富山県リハビリテーション専門職協議会

- ・介護支援専門員協会より訪問リハビリの研修会講師依頼。橋爪元理事より連絡あり。

2) 介テクセンターより

- ・アクセルエールの勉強会、研修会の開催依頼あり。対応できそうな部、委員会に聞いたが、対応困難

3) 精神保健福祉協議会

- ・6月19日 齋藤出席。7月2日にゆりの木の里カフェオープンと広報あり。

4. 東海北陸ブロック関連

1) 北陸三県合同MTDLP事例検討会（福井県主催）

- ・富山県からの参加者状況は不明、1事例提供とファシリテーターは確保

《検討事項》

1) 令和7年度 総会の振り返り

- ・無事に終わることが出来た、功労表彰者の挨拶、参加の打診
- ・新しい会場でも大きなトラブルなく進行出来た。
- ・呉西地区は比較的近くて喜ばれていた西と東で隔年開催はどうか。ラポールも検討。
- ・新人交流会は当日受付も次年度検討

2) 参議院選挙（齋藤会長）

- ・県士会としての対応確認。現在は特定の方を応援している訳ではない。連盟にて対応。

3) 役員報酬（塚田理事）

- ・近県の状況は別紙参照
- ・今年度中に検討し、導入する場合は、総会に諮ることが必要。慎重に検討すすめる。

4) 事務局移転について（塚田理事）

- ・別紙参照 移転については富山医療福祉専門学校の学科閉鎖前 詳細を田村前会長に聞く
- ・資料と経過、まとめていく

令和7年度 第4回理事会

日 時：令和7年7月17日（木）19時～20時

場 所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、吉波、渡邊、塚田、水島、
中川、堀口、能登、田中、森、小倉

欠席者：大平、丁子

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

- ・北陸3県MTDLP事例検討回 7月27日（青池）竹内氏。今年度福井県、来年度富山県
- ・MTDLP基礎研修 9月中旬予定
- ・臨床指導者研修会 現在12名 前回までは県外者お断りしていたが今回は新潟・大阪から参加⇒承認

2) 富山県作業療法学会（桐山理事）

- ・7月5日に丁子先生 研修会開催 30名程度

3) 生活作業療法委員会（水島理事）

- ・7月29日Cブロック会議

4) 高校生作業療法体験会

- ・7月27日 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター。高校生13名申込み 青池学園 学生ボランティア4名と白瀬教員協力。
- ・8月3日 厚生連高岡病院 高校生12名申込み 青池学園学生ボランティア2名と白瀬教員。

5) 発達障害部会

- ・8月2日 研修会 参加者募集

2. 日本作業療法士協会関連

1) よんぱち

- ・第1回 6月28日 齋藤、大平、塚田、能登、水島。別紙報告書参照。
- ・第2回 10月25日、26日 ハイブリッドのため齋藤会長現地。その他希望者募る

2) 生活環境支援推進室事業について

- ・別紙参照
- ・7月14日 協会会議あり。規定予算に沿っていなかったため一旦ストップしていたが、再開

3) 地域医療構想講演会

- ・7月30日 オンラインで齋藤、大平、桐山出席。以降のオンデマンドは会員に配信予定。

4) 2024年度市町村地域支援事業へのOT参画実態アンケート

- ・別紙参照。

3. 富山県関連

1) 富山県リハビリテーション専門職協議会

- ・9月4日に研修会・情報交換回予定 裏田氏（南砺市民病院）報告予定

2) 富山県循環器対策委員会

- ・富山県から作業療法士にも委員要請あり齋藤会長に委嘱

4. 東海北陸ブロック関連

1) 北陸三県合同MTDLP事例検討会

- ・7月27日開催予定。7月18日参加締め切り。

《検討事項》

1) 公文書の確認について

- ・担当理事等、何人かでチェックした上で文章を発送する

2) 事務所移転について

- ・田村先生から3団体で一つの事務所を構える案もあるのでは。事務所移転に関しては今後検討

令和7年度 第5回理事会

日 時：令和7年8月21日（木）19時～20時

場 所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、水島、堀口、丁子、能登、森、田中

欠席者：中川、小倉

《報告事項》

1. 県士会関連事業

1) 教育局（能登理事）

- ・9月21日 MTDLP 基礎研修：アルペン病院で開催。メーリングリスト、HP配信済
- ・臨床実習指導者講習会。前年度は中止していたが、今回は23名参加。事前練習は2回予定。
- ・現職者選択者研修（身障）を冬に実施予定。

2) 普及指導事業部

- ・作業療法士体験会（別紙参照）
7月27日 県リハ（スタッフ16名、参加者10名、保護者3名）厚生連高岡HP（スタッフ14名、参加者11名）うち社会人2名の参加あり

3) 災害委員会

- ・8月7日 安否確認の連絡済み。被害報告なし
- ・9月25日 災害訓練実施予定。
- ・他士会の状況も確認していつてはどうか。

2. 日本作業療法士協会関連

1) よんぱち

- ・第2回 10月25、26日 ハイブリッド 齋藤会長 現地参加予定 オンライン参加者募集（桐山理事その他）協会員＝士会員、5歳児検診、倫理等のトピック

2) 第2回地域事業支援会議

- ・10月4日、5日 現地およびオンライン
別紙参照
- ・水島理事から案内済み（今の所、参加者1

- 名) 締め切り 9月5日まで。8月中旬に水島理事まで
現地参加者募集中。
- ・水島理事は10月4日のみ参加可能(オンライン)、齋藤会長10月5日参加
 - ・日当は生活作業療法委員会から支払い
- 3) 地域医療構想講演会
- ・7月30日 オンラインで齋藤会長、大平理事、桐山理事出席。報告書別紙参照。オンデマンド配信があるので、理事の皆さんは視聴してください。
- 4) 福祉用具支援事業委員会 会議
- ・浜出、飯田、中岡 出席。報告書別紙。
- 5) 災害担当者情報交換会
- ・9月27日 開催予定。高林(不参加)、大平理事(要検討)、災害委員会から1名参加予定。
- 6) 認知症関連の活動報告
- ・8月22日 締め切り。報告内容は、例年と変わりなし。田中理事対応
- 7) 倫理担当者会議
- ・9月20日 丸本出席予定。士会・協会倫理連携担当者の設置。
 - ・担当者の確認(塚田理事)
- 8) 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会
- ・7月19日 渡邊純子、平井、館出席。報告書別紙。
- 9) 令和7年度地域保健総合推進事業
- ・士会より協力者1名(渡邊理事)。
- 詳細別紙参照。
3. 富山県関連
- 1) 富山県リハビリテーション専門職協議会
- ・高岡市民フォーラムについて。稲田部長が出席しパンフレット配布可能 塚田理事もしくは広報部の松島部長も出席可能(塚田理事からST士会に連絡)。
- ・PT士会(2名) 参加予定
 - ・今回は出店料なし。各士会から日当支払い(それぞれの部から捻出)
 - ・9月4日に勉強会。3士会それぞれ1名ずつ発表。当士会は南砺市民病院の裏田氏
- 2) 県立大学 認知症の評価について
- ・9月10日 2名要望あり 護摩堂(青池学園)、岡田(西リハ)が参加 2名
 - ・県立大学から交通費補助あり。
- 3) 富山県福祉懇話会
- ・8月6日 田畑事務所よりOT士会は欠席。齋藤会長から返答
4. 東海北陸ブロック関連
- 1) 北陸三県合同MTDLP事例検討会
- ・7月27日 開催。能登理事(不参加)。部長、竹内(青池学園)参加。富山からは10名ほど参加。
 - ・来年は7月富山県で実施予定。
5. OT協会
- 1) Cブロック会議
- ・7月29日 開催。水島理事・池端(西リハ)出席。
 - ・地域支援会議の後にCブロック会議を行なっていく。
 - ・会議では、振り返り以外に各士会ごとの取り組みも報告できるとよいのでは。
- 《検討事項》
- 1) 下肢疾患の返戻について(森理事)
- ・砺波総合病院、朝日総合病院では返戻の指摘なし。
 - ・済生会、氷見市民病院 返戻の指摘。
 - ・各病院の実情を情報収集したい。

《報告事項》

- ・メーリングリスト（塚田理事）：現在、塚田理事個人のIDで運用している。近々、県士会のIDで運用するため案内する
- ・富山県精神保健福祉大会（吉波理事）：11月12日県民会館で開催。桜井（富山市民病院）氏を表彰者に推薦

令和7年度 第6回理事会

日 時：令和7年9月18日(木) 19時～20時45分

場 所：ZOOMによるオンライン会議

参加者：齋藤、桐山、大平、吉波、渡邊、塚田、水島、堀口、能登、田中、中川、森、小倉

欠席者：丁子、能登

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) 教育局（能登理事）
 - ・9月21日 MTDLP 基礎研修募集状況
 - 2) 普及指導事業部
 - ・OTマップについて 従来通り、年に1回秋頃に更新する。なお、利便性を高めるために住所と電話番号の欄を追加する。変更等は会員本人の申請に基づいて行う。患者・利用者が見られるように各施設で掲示する。PDF変換したOTマップをホームページ上で閲覧・ダウンロードできるので、必要時には適宜、各部署がダウンロードし印刷を行う。患者や県民に活用していただくため、OTマップは情報の正確さが求められることを会員へ協力を呼びかける。
 - 3) 富山県作業療法学会（桐山理事）
 - ・演題募集が開始 現在2演題が申込み。理事から担当部局へも働きかける。
 - ・今年度学会から学生の参加費は無料とし、次回以降にも引き継ぐ。
 - ・スイッチャの購入

- 4) 発達障害部会
 - ・5歳児健診に関する働きかけについて OT協会から各市町村へ5歳児健診のポスターが送付された。問い合わせがあれば、桐山副会長へ連絡する。また、研修案内等も士会ニュースで周知する
- 5) 災害委員会
 - ・9月25日 災害訓練予定
- 6) 総務部
 - ・富山県精神保健福祉協会表彰 櫻井久子氏（富山市民病院）に授与決定し、表彰式に参加する
- 7) 広報部
 - ・メーリング移行作業進捗状況 申込者は100名程度。今後、各部局で研修会案内などを作成する
- 8) 福利厚生部 10月12日滑川ほたるいかマラソンの給水ボランティアに参加予定
- 9) 生活作業療法委員会 1月18日 応用研修会 災害についての話もあり
2. 日本作業療法士協会関連
 - 1) よんぱち
 - ・第2回 10月25日・26日 ハイブリッド開催予定齋藤会長現地参加、桐山副会長オンライン参加予定
 - 2) 第2回地域事業支援会議
 - ・10月4日・5日 ハイブリッド開催予定 1日目 池畑広明（西リハ）水島理事。2日目 齋藤会長 池畑広明（西リハ）。参加予定
 - 3) 多機関連携による退院促進措置を推進するための研修
 - ・研修会をメーリングで周知。県や協会等から協力要請があった場合の対応について精神部会に依頼済。部員には9月の部会で周知し、他職種の研修会の情報共有も行う
 - 4) 災害担当者情報交換会

- ・ 9月27日開催予定
- 5) 倫理担当者会議
 - ・ 9月20日 丸本薫氏（谷野呉山）出席予定。
士会・協会倫理連携担当者の設置。
- 6) 令和7年度地域保健総合推進事業
 - ・ 士会より協力者1名。10月19日（日）10時～16時30分 渡邊理事参加、塚田事務局長傍聴参加予定。
- 7) 運転と地域移動に関する全国協力者会議のご案内および運転と地域移動に関する実態調査への協力をお願い
 - ・ 丁子理事、佐々木委員長で対応
- 3. 富山県関連
 - 1) 富山市議会議員 木地智美氏との情報交換会
作業療法士の特別支援教育への参画について
 - ・ 10月 齋藤会長、桐山副会長、渡邊純子氏にて予定 10月22日 ワンチームとやま 教育委員会に渡邊純子が報告予定
 - 2) 高岡市フレイル予防イベント 塚田事務局長、普及指導事業部稲田部長

- 3) 富山県立大学の清水暢子准教授の認知症の検査測定について、塚田事務局長、西リハからOTRが参加した。

4. 東海北陸ブロック関連

- 1) 特になし

＜検討事項＞

- 1) 士会事務員の報酬（時給）について
椎名（発送担当）1,070円、小西（現金出納、郵便）1,090円、羽田野（事務全般）1,120円
個人名を明記してよいか 10月1日から適用
- 2) 会員事務の報酬（時給）について
1,100円 10月1日から適用
- 3) 士会剰余金について
塚田事務局長から予算・決算の推移や事業費や管理費、また、事務所移転や事務員についてのヒアリング結果の説明あり。各理事は、現時点における意見を10月第一週に塚田事務局長へ送る。次回理事会で整理、11月中に対策案を作成する。
全体会は12月10日（水）予定

● 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	長森 史絵	いきいきサポートセンターゆめ	小規模多機能型居宅介護事業所やっしゅつけ	
異動	山本 皓太	アルペンリハビリテーション病院	富山県立中央病院	
改姓	丹保 亜伽里		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	旧姓 坂井
異動	松井 琉翔	リハビリ・デイサービスおやべ	リハビリ・デイサービスたかおか	
異動	本間 かや乃	流杉病院	流杉病院	新入会
退会	田口 鼓太郎	福岡町たぐちクリニック		
異動	伴 大輔	自宅	株式会社 TherapEase(セラピーズ)	再入会
異動	柳原 偲花		富山西リハビリテーション病院	再入会

秋も深まり、山々が色づく美しい季節となりました。それと同時に、全国各地で「熊出没」のニュースが多く報じられています。人間にとっては危険な訪問者ですが、彼らも生きるために必死なのでしょう。自然と人との境界が年々曖昧になってきていることを改めて感じさせられる秋になりそうですね。